



NO. 729
発行
11・6月27日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部

労働組合の強化を



にいがた私学争議団支援共闘会議・年次総会が6月17日、新潟市ユニオンプラザで開催されました。県内各地から60名を超える方々が出席しました。

総会は、谷会長の開会あいさつ、不当解雇撤回で闘っている争議団の連帯のあいさつや私学争議団からの報告、支援団体などからの連帯のあいさつがありました。

渡辺事務局長から1年間の活動のまとめ、会計決算の報告、これから1年間の活動および会計予算案の提案、役員の方の提案がされました。

全体で承認され新しい役員が選出されました。

にいがた私学争議団 支援共闘会議 年次総会



大和ハウスの吉田さんから連帯のあいさつがありました。

吉田さんは「5月23日に結審し判決は7月26日に出される。地裁へは個人的な訴えだった。サービスクラスが強制されていたが、それを譲れなかった。後輩へも攻撃が強まるため新潟地裁へ訴えた。」

「地裁の判決後高裁へ闘いの場が移るかもしれないが引き続き御支援をお願いしたい」と報告がありました。



常陽会で不当解雇撤回を闘っている、薄田さんから報告がありました。

「平成21年10月以来、5ヶ月間の間に3回も「降格・減給」を繰り返され基本給30万円から14万7千円に引き下げられた。拒否したら「業務命令違反」として即日解雇された」とありました。



生活保護を受けている人は2万人を超えている。正規社員が少なくなっている。国民が安心して暮らせる社会を目指していく。

大企業に責任がある。非正規労働者やパート労働者が多く全体の1/2以上が非正規労働者だ。ハローワークなどは、非正規労働者への、あっせんを行っている。

労働者が弱くなっている。労働組合が無い企業が増えている。大企業にも労働組合が無い状況だ。労働組合いじめ、ツブシが拡大している。職場では不当労働行為が増えて、労働組合への攻撃が強行されている。

闘いは最後の局面に入っている。勝利していくには、労働組合を強化していくことが急務だ。そして、組合員を強化することと、組合員を増やしていくことが重要だ。

裁判闘争、中労委闘争などすべての闘いに勝利していこう。



私学争議団から帝京長岡高校争議団と加茂曉星高校争議団からそれぞれ報告がありました。

総会は、新役員の選出を全体で承認し、団結がんばろうを力いっぱい行い終了しました。

私学争議団支援
夏季物販を
販売しています

編集後記

今回は、にいがた私学争議団支援共闘会議・年次総会の特集になりました。

地域の民間企業では、労働者を簡単に解雇したり、不当労働行為の攻撃があります。

裁判闘争や地労委・中労委闘争が展開されています。早期解決に向けて、全体の団結を強化し闘って行かなければなりません。

皆さんのご支援をお願いします。

地本・教宣部

私学争議団からの報告

帝京長岡高校職組 中労委結審

学校内で、掲示板の使用・FAXの取次ぎ・組合活動について話し合いが行われた。

掲示板の利用が可能になれば広く宣伝できる。非常勤講師に対して専任教師と同様の業務が強行されている。など厳しい労働実態になっている。

組合員数を拡大していくこと、できることは全てやりきっていく決意だ。



加茂暁星高校労組

昨年12月、勝利判決が出されたが学校側は控訴した。不当解雇撤回控訴審裁判の署名の結集が少なくなっている。署名を積み上げて高裁に臨みたい。争議団の財政支援についても協力をお願いしたい。



争議団 赤井先生

学校では専任教師の負担が大きくなっている。闘いは多くの方々に支援されてきた。校長・学校側の対応は変わっていない。生徒先生への影響は変わっていない。闘いに勝利し、もう一度学園に帰るまでがんばっていく。

争議団 山田先生

校長の人事はおかしい。非常勤講師や非正規労働者の中にも闘いは広がっている。闘いを全体のものにしていく。署名・物販のご協力をお願いしたい。



文芸特集

山脈集推薦作品

今回の文芸特集は「鉄道川柳」平成10年11月号の山脈集推薦作品を集めました。いかがでしょうか？

いろいろなジャンルの作品を載せていきたいと考えています。

多くの方々からの作品をよろしく願います。



藤沢 岳豊 選

風んでいる海も七つの顔を持つ	小西 雄々	まだ燃える火種あります風の私語	平山 敏子
余命めくると明日は真つ白だ	中野 秀雄	思いやり男はだまって帆をおろす	宮崎 凡醉
瘤一つ一つに刻む樹のドラマ	佐藤 曙光	年金の歩幅に明日の音がない	笠原 高二
善人を演じて息が続かない	永井 悠々	近道を覚えた亀に負けが増え	堀 松白
残酷な答えが書いてあるカルテ	小島 宏	幸せの彩を増やしていい笑顔	細田 功
突然の闇をささえる伴侶の手	奥山 まもる	突風を母の笑顔がやわらげる	藤原 正秀
やるだけはやった汗です涙です	野本 清魚	無視される花火一途に上げて	田中 道博
立ち直るチャンスに海が満ちてくる	本園 はるを	母の日がまた来る母の居るように	渡辺 朝風
老残の血潮騒がせ汽笛の音	青木 長波	子にはまだ負けてはおれぬ背伸びする	神 ほうき